

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION
日本教育情報学会

NO. 97 2002. 4. 10

〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15 (学) 産業能率大学内 日本教育情報学会 運営本部事務局
Tel:03-3704-9168 Fax:03-3704-9246 <http://www.soc.nii.ac.jp/jsei>
(学協会情報発行サービスのドメイン名移行に伴い、URLが変更になっております。「nacsis.」→「nii.」)

年会費お支払いのお願い

2002年度がはじまりました。本年度の会費の振込用紙を同封いたしますので、手続きをお願いいたします。

本学会は、会員の皆さまからの会費によって運営されております。学会の正常な運営のためにも、趣旨ご理解の上、お早めに手続きをいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

なお、01年分の年会費のお支払いが、まだお済みでない方は本年度会費と合わせて手続きくださいますようお願いいたします。

(振込み用紙の発送が遅くなり、失礼いたしました)

*****退会される方へ*****

退会届の特定の書式はございません。退会される方は、A4の書面(郵送またはFAX)で、事務局までご提出ください。

記載事項は、退会の旨、会員番号、氏名、届出日、退会期日(年度)、印です。その他に連絡が必要と思われる事項がありましたら、合わせてご記入ください。

なお、未払いの過年度分の会費は、お支払いくださいますようお願いいたします。

また、退会後にも過年度中に発行予定の刊行物を送付する場合がありますので、ご了承ください。これらも一切不要の場合は、退会届にその旨をご記載ください。

日本教育情報学会 第18回年会 ～発表申込み受付中～

第18回年会の概要と研究発表の応募に関しては Newsletter 96でお知らせしましたが、今回、改めてお伝えいたします。

下記の要項をご熟読の上、期限内に手続きくださいますようお願いいたします。多数のご参加とご発表をお待ちしております。「おいでませ山口へ」

期 日 2002年8月31日(土)・9月1日(日)
後 援 山口市教育委員会、山口県教育委員会(申請中)
会 場 山口大学 吉田キャンパス

所在地 〒753-8513 山口市吉田1677-1 (TEL083-933-5000)

交 通 JR山口線「湯田温泉」駅からタクシー約5分

湯田温泉駅には、山陽新幹線「小郡」駅から約20分、「山口宇部空港」からは路線バスで約60分。

(山口大学への交通は不便です。時間にゆとりを持ってお越し下さい。詳細は下記 URL でご確認ください)

交通案内: <http://www.center.edu.yamaguchi-u.ac.jp/jsei18/koutsu.html>

宿泊案内: <http://www.center.edu.yamaguchi-u.ac.jp/jsei18/hotel.html>

事務局 山口大学教育学部附属教育実践総合センター内

日本教育情報学会第18回年会実行委員会

日 程 (時間は予定)

8月31日(土)		9月1日(日)	
10:00~12:00	一般研究	10:00~12:00	課題研究
12:00~13:00	昼食休憩	12:00~13:00	昼食休憩
13:00~13:45	総会・学会賞表彰式	13:15~16:00	シンポジウム・ パネルディスカッション
14:00~17:10	一般研究		(SCS参加予定:宮崎大学)
18:00~19:30	懇親会(別会場)		

(1) シンポジウム・パネルディスカッション

テーマ 「これからの教育評価と教師の役割」

[趣旨] 新学習指導要領の完全実施を控え、教育内容や方法・技術、評価のあり方も大きく変わろうとしている。さらに教師においては「教える」、「与える」授業から、「支援する」、「コーディネートする」といった授業における教師の役割も変わってきている。なかでも学習内容の精選をめざした授業時数の削減のなかで新設された総合的な学習の時間の効果的な実施については、多くの現場の先生が内容、方法、評価のあり方について困惑しているのが実状である。

これらの背景をふまえ本シンポジウムでは、情報教育や総合的な学習の時間における教育情報(コンテンツ)や方法・技術に加え、とくに教育評価のあり方について考えてみたい。

さらにこれからの教師に求められる資質や力量について考え、効果的な現職教員を対象とした教員研修のあり方について考えてみたい。

パネリストは、教育内容や評価、情報教育、教員研修のそれぞれの観点から専門家を招き、参加者の教育実践者に明日からの授業に有用な情報提供を心がけたい。進行にあたっては、会場の参加者との質疑応答などコミュニケーションの活性化に努めたい。

また本会場の山口大学と他大学間をSCS(衛星通信を利用した遠隔装置)を利用して結び、シンポジウムに参加していただく予定である。

[コーディネータ] 会場校教官(山口大学)

[パネリスト]・コンテンツ、評価(デジタルアーカイブ、構成主義学習)の観点から:教育内容・評価専門家

・情報活用能力(情報教育)の観点から:情報教育専門家

・教師教育(教員研修)の観点から:教師教育専門家

[遠隔(SCS)参加]・総合的な学習の時間の観点から:新地 辰朗(宮崎大学) 予定

(2) 課題研究テーマ

課題1. 「教育コンテンツ・評価 (素材, ポートフォリオ, 教材開発など)」コーディネータ: 宮田 仁 (滋賀大学)

学校の情報化への対応にともない Web 上で利用できる教育用コンテンツの開発, 充実が急務となっている。WBT (Web Based Training) システムやインタラクティブな Web 教材, また, 最近では VOD (Video-on-Demand) を利用したデジタル動画コンテンツの配信等, ICT の発展はめざましいが, 今一度, 原点に戻り, それらの教育用コンテンツとしての意義や評価を問い直したい。

また, Web ベースのポートフォリオ等を活用した評価の研究や実践も話題として取り上げたい。

課題2. 「教育方法・技術 (遠隔教育, ICT, カリキュラム, 教育実践など)」コーディネータ: 大西 荘一 (岡山理科大学)

学校においてインターネットやテレビ会議システムの設備が整いつつあり, これらの設備を活用した遠隔教育が重要な課題となってきている。遠隔教育の実践を通じて得られたノウハウや問題点を抽出し, 遠隔教育方法と教育効果について議論したい。また遠隔教育による様々な連携事例について, その有効性を議論したい。

課題3. 「新教育課程 (総合的な学習の時間, 小学校英語)」コーディネータ: 野口政吾 (山口大学附属光小学校)

総合的な学習元年を間近に控え, 現場ではカリキュラムや評価, メディアリテラシーや小学校における英語活動など, 実践的な課題がクローズアップされてきた。これらの課題を情報活用能力とからめながら議論していくことにより, 「生きる力」「学力」などについて問い直していければと考えている。

課題4. 「教師教育と生涯教育 (教員研修, 社会教育)」コーディネータ: 横田 学 (京都市立芸術大学)

小・中学校の新教育課程全面実施により総合的な学習の時間の真価が問われ, また, 来年は高等学校「情報」の授業が始まる時期となり, インターネットなどを活用した授業への期待はますます大きくなっている。さらに, 政府の e-Japan 重点計画に示されているように, 生涯教育の場での情報教育も求められている。これらを指導する教員に必要な資質能力とは何か, また, その資質能力を身につけるための教師教育 (大学, 現職) の課題を明らかにするとともに, その内容及び方法についても検討したい。

(3) 一般研究発表

- ・発表内容は「教育情報に関する研究」であれば, 特に内容は問いません。「教育情報」は, 大きくみて「教育に関する情報」と「情報に関する教育」が含まれています。
- ・これまでの発表セッション (キーワード) は次の通りです。

インターネット, 遠隔教育, 遠隔教育システム, 遠隔協働学習, 学習ソフトウェア開発, 学習評価, 教育システム, 教育用ソフトウェア, 共同学習, 交流学習, コンテンツ, シミュレーション学習, 授業分析, 生涯学習, 情報教育, 情報教育カリキュラム, 情報教育システム, 情報教育の展開, 情報教育リーダー育成, 情報教材開発, 情報検索, 情報システム開発, 情報処理教育, データベース, ネットワーク, ネットワーク活用, ネットワーク活用学習システム, プレゼンテーション, ホームページ, マルチメディア
--

- ・従来, 一般研究では発表分野ごとに発表セッションを振り分けていましたが, 今年度の年会では, 教育情報の内容や方法・技術について, 対象者層 (校種) ごとに発表セッションを設けることにいたしました。

※ () 数字がセッション番号になります。

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| (1) 初等教育の実践研究 (幼稚園・小学校・養護学校 他) | (4) 教員研修の実践研究 |
| (2) 中等教育の実践研究 (中学校・高校) | (5) 生涯学習の実践研究 |
| (3) 高等教育の実践研究 (短大・大学・専門学校) | (6) 企業内教育の実践研究 |

(4) 研究発表申込み方法

① 申込締切り 2002年 5月17日 (金)

② 申込方法 課題研究は「課題研究発表申込書」(申込用紙左側), 一般研究は「一般研究発表申込書」(申込用紙右側)に必要な事項をご記入の上, 年会実行委員会事務局へ郵送してください。

③ 課題研究に関する注意事項

- ・課題研究は前記「課題研究テーマ」から選びそのテーマに合った研究発表題目をつけてください。
- ・課題研究発表は年会実行委員会で調整し, 各テーマごとに担当コーディネータが検討し, 審査します。その結果, 発表否となる場合もあることをあらかじめご了承ください。なお, 課題研究として発表できない場合には, 一般研究を別に申し込んでいても課題研究分を一般研究発表として発表していただくことができる場合もあります。
- ・第1発表者として課題研究発表は, 1人につき1件のみとします。ただし, 年会実行委員会から特に依頼された課題研究発表についてはこの限りではありません。

④一般研究に関する注意事項

- ・一般研究は対象者層と考えるセッション番号を「対象者層」欄にご記入ください。
- ・第1発表者としての一般研究発表は、1人につき1件のみとします。
- ・一般研究発表の発表者は、発表の時点で会員である必要があります。非会員の方は、事前に学会入会の手続きをしてください。学会入会申込書は年会事務局にご請求ください。

⑤発表申込書の書き方について

- ・講演者とは、研究発表会場で口頭発表する会員です。
- ・共同研究者は何人でもかまいません。
- ・概要はなるべく詳細に書いてください。
- ・キーワードとして、前記発表セッション名の中から数語を含めて10語以内を選んでください。
- ・会場で使用できる機器は、OHPとVTRとプロジェクタです。パソコンは会場で用意できませんので、使用する場合には持参する機器の欄に記入してください。
- ・執筆要項などの送付先は、発表者への連絡時期である6月上旬を想定して、自宅または勤務先に○をしてください。

(5) 発表者への連絡

- ①発表者には、6月上旬に発表の可否を連絡します。(6月6日予定)
- ②発表を可とされた申込者に対しては、論文の執筆要項をお送りします。
- ③論文の原稿枚数は2枚または4枚とします。原稿は「年会論文集」の版下の形で、ワープロ出力したものを提出していただきます。

(6) 参加費について

- ・会員事前申込締切日まで 参加費3,000円 資料代3,000円 懇親会費5,000円(予定)
- ・会員(当日)・非会員 参加費4,000円 資料代3,000円 懇親会費5,000円(予定)
- ・地域の方 地域の方の参加を歓迎します。地域の小中高の先生方等の参加費などは、年会事務局へお問い合わせください(メールなど)。

※今回のご案内は発表申込みです。参加申込みは、後日(5月予定)送付する「参加申込書」を郵送し、あわせて参加費を締切日までにお振込みください。

(7) 宿泊について

- ・大学近郊に宿泊施設は多数あります。適当な宿泊施設についてのご案内は後日いたしますが、ご予約は各自でご手配願います。

(8) これからのスケジュール(予定)

- | | |
|----------|----------------|
| ①発表申込締切 | 2002年 5月17日(金) |
| ②発表決定通知 | 2002年 6月 6日(木) |
| ④論文提出締切 | 2002年 7月17日(水) |
| ⑤参加申込締切 | 2002年 8月 3日(土) |
| ⑥参加費支払締切 | 2002年 8月15日(木) |

発表申込書送付先・問い合わせ先

送付先：〒753-8513 山口市吉田1677-1

山口大学教育学部附属教育実践総合センター内

日本教育情報学会 第18回年会実行委員会事務局

Tel & Fax 083-933-5310

ホームページ：<http://www.ica-j.org/jsei18/minibbs.cgi>

メールによる問合せ：第18回年会実行委員会 (jsei18@reeml.com)